

第4回水稻病虫害発生予察状況の調査結果について

令和8年8月18日 兵庫県農業共済組合西播支所

佐用町内4ほ場（佐用1、上月1、南光1、三日月1、品種：白鶴錦・ヒノヒカリ）の水稲病虫害発生状況について8月18日に調査を行いました。害虫はウンカ類・カメムシ類が確認されました。

1 調査結果（調査日8月18日）

◎生育調査結果

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本/株）	備考
白鶴錦（櫛田井之谷）	99.9	23.5	6/10 移植

◎病虫害調査結果

病虫害名	4ほ場の調査結果の概要	今後の対策
いもち病	一部ほ場で確認されました。	緊急の対策は必要ありません。
紋枯病	発生は確認されませんでした。	
縞葉枯病	発生は確認されませんでした。	
ウンカ類	3ほ場で確認されました。発生数は少ないです。	ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除・管理に努めてください。
ツマグロヨコバイ	1ほ場で確認されました。発生数は少ないです。	
ニカメイチュウ	発生は確認されませんでした。	
カメムシ類	1ほ場で斑点米カメムシが確認されました。発生数は少ないです。	

（調査地点別の結果は別紙参照）

2 これからの管理について

①カメムシ類

斑点米カメムシ対策として、本田のノビエは早めに抜き取りましょう。
イネカメムシが確認されましたので、これまで被害のあった地域等は引き続きご注意ください。

（参考）推奨薬剤：スタークル豆つぶ（250g/10a）

時 期：1回目（不稔対策）：出穂1週間前

2回目（斑点米対策）：出穂後7～10日後

②ウンカ類

坪枯れを起こすトビイロウンカの発生は確認されませんでした。引き続きほ場の確認を継続してください（中国地方では発生が確認されています）。

今回で今年度の調査は終了です。